

# お城と彫刻

ドイツ・ルネサンス城館の造形表現と象徴空間

ハイデルベルク城・フリードリヒ館



彫刻はかつて建築の一部として創造されることがほとんどでした。彫刻家・本郷新も「彫刻の構成は建築に似ている」と指摘しているように、彫刻と建築の関係は歴史的にも造形的にも根深いものがあります。本講座では、日本で唯一美術史の分野でドイツのお城を研究している講師が、16世紀頃に建設されたドイツの城館建築を例に、建築における彫刻の造形表現を紐解きます。そしてその表現が、城館建築に特有の象徴的役割を果たしていることを明らかにしていきます。

2023.  
**5.27** (土)

10:30 ~ 12:00 (開場10:00)

講師 **梅村 尚幸**



札幌市出身。北海道大学大学院文学研究科修士課程修了、同博士課程中退。在学中にドイツのミュンヘン大学やバンベルク大学に留学。2017年より札幌芸術の森美術館学芸員、2021年より一般財団法人地域創造に向向、2023年より本郷新記念札幌彫刻美術館学芸員。主な担当展覧会は「札幌美術展 砂澤ビッキー風一」(2019年)、「アート×コミュニケーション=キース・ヘリング展」(2021年)など。

会場 **SCARTSスタジオ** (札幌市民交流プラザ2階)

札幌市中央区北1条西1丁目

(地下鉄大通駅30番出口から西2丁目地下歩道より直結。徒歩2分)

料金 **500円** 定員 会場聴講/オンライン聴講各**60**人(事前申込制)

申込方法 5月3日(水)より申し込み開始

会場聴講: 電話受付(先着順)

☎ **011-642-5709**

受付時間10:00~17:00 月曜休館

オンライン聴講: 下記URLより申込み

<https://chobi20230527.peatix.com>



※申し込みには会員登録が必要です。

※オンライン聴講は、定員に達しない場合でも5月26日(金)12:00に受付を締め切ります。

※オンライン聴講をお申し込みの方は、後日アーカイブ映像をご覧いただけます(7日間限定)。

主催: 本郷新記念札幌彫刻美術館(札幌市芸術文化財団) 共催: 札幌文化芸術交流センター SCARTS